

令和4年度

事業報告

社会福祉法人ベタニヤホーム

目 次

○令和4年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業報告	1
【各拠点事業報告】	
○令和4年度 法人本部 事業報告	3
○令和4年度 母子生活支援施設 ベタニヤホーム 事業報告	17
○令和4年度 菊川保育園 事業報告	25
○令和4年度 富士見保育園 事業報告	33
○令和4年度 こひつじ保育園 事業報告	39

キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく社会福祉法人ベタニヤホームの基本理念の実現と使命を果たすべく、また、社会福祉法人として法に基づく適正な組織運営とガバナンスの強化を図るため、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、利用者各位をはじめ地域の支援者、関係団体・機関の皆様のご理解とご協力のもと、役職員が一丸となって取り組みを行った。

特に、創立100周年を迎えるにあたって検討をすすめてきた記念事業の枠組み・企画が固まったこと。そして、令和6年1月の完成をめざし富士見保育園の建替え工事がスタートしたことの二点は、令和4年度特筆すべきものである。

しかし、一方では、施設における経営や組織マネジメントにおける喫緊の改善課題も表出していることも報告しておかなければならない。

法人創立99周年目を迎えた令和4年度であるが、やはり、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中での取り組みが続いた。しかし、各拠点ともに十分な感染対策のうえ、事業遂行に様々な工夫を凝らし、利用者本位の事業計画を立て実践した年でもあった。

以下、令和4年度に法人が掲げた基本方針に基づく主な取り組みについて報告する。

1. 理念の継承

今年迎える創設100周年を機に、創設者、先達者たちの想いをしっかりと覚えて受け継いでいくため、記念事業の企画、準備を行ってきた。一人でも多くの職員が参加し、創設者、先達者たちの想いを法人全体で共有し、継承していく準備を引き続きすすめていく。

また、担当牧師（チャプレン）とのかかわりをより多く持つことを心がけてきたほか、情報共有や学びの機会として、るうてる法人会連合におけるルーテル社会福祉協会及びルーテル幼稚園・保育園連合会に参加・加盟し活動を共にした。今後も、キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく法人の役割の理解と実践に役立てたい。

2. 人材育成と働き方改革への対応

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により研修の場は少なく、法人主催の主任研修、外部の保育主任研修、人事評価レクチャーなどを実施したが、法人としての人材育成方針及び人材育成計画の策定には着手できていない。

一方、同一労働同一賃金の考え方にに基づきさらなる労働環境の整備を図るため、賃金規程等検討委員会を中心に、期間契約常勤職員の雇用制度の導入を実現した。引き続き、有期雇用職員の処遇の見直しなどについて検討を行っていく。

3. 拠点組織の強化と例規類の整備

施設経営マネジメントの視点から、将来を担う中堅職層である主任、副主任層の位置づけを明確化するため研鑽の場を設けている。また、人事評価委員会を設置し、採用から昇任考査、人事評価など公平、公正、客観的な人事判断を委ねている。

一方、電子帳簿保存法対応及び各種電子化に向けた機器の導入を法人として勧め、一部施設へ

の導入を図ることができた。引き続き、事務効率化に努めたい。例規整備については、法制度の改正が目まぐるしく作業がすすまない状況であり、令和5年度も引き続き行っていく。

4. 経営委員会ほか各種検討プロジェクトの運営

理事会の補助機関としての経営委員会の運営に加え、今年度から経営委員による人事評価委員会を立ち上げ（前出）た一方、富士見保育園建替え委員会委嘱後、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で未開催となった。同委員会は、令和5年度から新たな富士見保育園のこれからのあり方を考える場としていく。その他、各種委員会、プロジェクトについては別記参照されたい。

5. 拠点間の連携・協働

社会福祉法人として、様々な生活課題を抱える地域の子どもたちやその家庭に対し、私たち法人が行う事業や持ちうる機能、人材、ノウハウといった様々な資源を提供するとともに、法人内外の施設間で連携・協働が図れるよう、地域の福祉課題などの把握や法人内施設間での情報共有と具体的な連携づくりに向けて検討を行った。現在、母子生活支援施設が行っている食支援の取り組みや創立100周年記念事業を今後の大きな呼び水としたい。

6. 祈りの場の提供

教会との関わりであるが、コロナ禍において継続して祈りの場をご提供いただいた。日本福音ルーテル聖パウロ教会には、法人全体で実施する礼拝の会場として、また、月例開催の施設連絡協議会においても御言葉とともにお祈りをいただいたほか、コロナ禍にある施設利用者や職員等を精神的に支えていただいた。そして、日本福音ルーテル教会の現役、引退の教職の方々から、引き続き各施設の担当牧師としてそれぞれお力添えをいただいた。心より感謝申し上げる。

令和4年度の重点事項と具体的な実践計画に基づく取り組み成果等については、次頁以降の各拠点ごとの事業報告を参照されたい。

令和4（2022）年度 法人本部 事業実施状況・評価報告

I 令和4年度の施設運営方針に基づく取り組み状況と成果・課題について

今年度は、新型コロナウイルス感染症第7波、第8波の拡がりにより、いずれの施設も大きな影響を受けたが、各施設とも予防対策や運営体制を整え日々の業務にあたってきた。

法人本部においても、こうした環境下に置かれている中で計画事業の遂行に努めてきたが、新たな人事評価制度の周知・レクチャーなどいくつかの業務の着手、遂行が遅れ、また、人材育成計画や防災関連の計画づくりなど未着手となった。

令和3年度までの3年間で法人本部の再構築に向けて大きな課題は概ね対策できたと考えているが、引き続き、諸規程の整備作業が残る中、目まぐるしく変わる法・制度等への対応や各施設における庶務事務のサポート等への対応に多くの時間を割かれてしまった。

一方、法人創立100周年記念事業については予定より進捗が半年ほど遅れるものの、これまでの準備委員会を作業部会へ改め、外部委員の参画を得て発足した創立100周年記念事業実行委員会と連携・協働して検討・作業を行った。現在、令和5年9月16日の記念会を軸に記念事業の枠組みや企画が固まり、具体的な作業を各施設分担してすすめることができている。

また、富士見保育園の建替え事業は、1～2か月ほど遅れてはいるものの、建替えに要する補助金及び借入金の申請、建設業者の入札・契約、起工式を経て、現在は順調に工事が推移している。

人材育成の具体的な取り組みとしては、法人全体の職層研修の一環として主任研修を計画し実施することができた。令和5年度は正副施設長を対象に組織マネジメント研修を行う予定である。

総じて、今年度の重要な取り組みについては、一部を除き概ね順調と言えるが、組織マネジメント及び人事面、特に人材採用において改善を急ぐべき課題が浮き彫りになった。

II 令和4年度上半期の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 法人運営へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)経営組織の体制再構築と法令を遵守した安定的な運営

①理事会 開催7回

第1回	令和4年6月9日リモート開催	出席	理事8人	監事3人
<決議事項>				
議案第1号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第3号）				
議案第2号 令和3年度事業報告及び決算報告の承認について				
議案第3号 令和4年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）				
議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について				
議案第5号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について				

- 議案第6号 役員等賠償責任保険契約について
- 議案第7号 次期監事選任候補者の推薦について
- 議案第8号 令和4年度第1回評議員会の招集について

<報告事項>

- 1 令和3年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について
- 2 令和3年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について
- 3 令和3年度決算に基づく社会福祉充実残額について
- 4 理事長の業務の執行状況報告について
- 5 富士見保育園建替え準備状況について
- 6 社会福祉法人ベタニヤホーム契約等に係る暴力団等排除措置要綱について
- 7 ベタニヤホーム職員共済会会則について

第2回 令和4年8月25日リモート開催 出席 理事7人 監事3人

<決議事項>

- 議案第9号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第10号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 議案第11号 富士見保育園改築工事に伴う競争入札の実施について
- 議案第12号 富士見保育園園舎建替え費用の借入れに係る資金計画の変更に
ついて
- 議案第13号 創立100周年記念事業実行委員会の設置について
- 議案第14号 令和4年度第2回評議員会の招集について

<報告事項>

- 1 令和4年度第3回理事会の招集について

第3回 令和4年9月12日リモート開催 出席 理事8人 監事3人

<決議事項>

- 議案第15号 富士見保育園改築に係る入札参加業者の選定について
- 議案第16号 富士見保育園改築に係る工事の予定価格の決定について

第4回 令和4年11月9日書面決議 理事8人（同意） 監事3人（確認）

<決議事項>

- 議案第17号 富士見保育園増改築に係る建設工事の委託契約の締結について

第5回 令和4年11月18日リモート開催 出席 理事7人 監事3人

<決議事項>

- 議案第18号 令和4年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第19号 令和4年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第20号 令和4年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算
（補正第1号）
- 議案第21号 こひつじ保育園各階照明器具LED化更新工事委託契約について
- 議案第22号 令和5年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備業務の委託

について

議案第23号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について

議案第24号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第25号 令和4年度第3回評議員会の招集について

<報告事項>

- 1 令和4年度富士見保育園拠点区分収入支出予算の流用について
- 2 富士見保育園改築工事に係る一般競争入札及び施工業者との契約締結報告について
- 3 令和4年度上半期理事長の業務執行状況報告
- 4 令和4年度上半期事業実施状況報告
- 5 令和4年度第2回監事監査実施報告

第6回 令和5年3月3日書面決議 理事8人（同意） 監事3人（確認）

<決議事項>

議案第26号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第27号 太陽熱利用温水設備設置等工事の請負契約の締結について

議案第28号 令和4年度第4回評議員会の招集について

第7回 令和5年3月16日リモート開催 出席 理事8人 監事2人

<決議事項>

議案第29号 令和4年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第30号 令和4年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第31号 令和4年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第32号 令和4年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第33号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

議案第34号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について

議案第35号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第36号 令和5年度予算に係る積立金の取り崩しの承認について

議案第37号 令和5年度事業計画及び資金収支予算の承認について

議案第38号 創立100周年デジタル記念誌等制作業務の委託契約の締結について

議案第39号 令和4年度第5回評議員会の招集について

<報告事項>

- 1 令和4年度法人本部拠点区分支出予算の流用報告について
- 2 創立100周年記念事業について
- 3 富士見保育園建替え事業について
- 4 こひつじ保育園の運営について

②評議員会 開催5回

第1回 令和4年6月25日リモート開催 出席 評議員9人 監事2人 理事1人

< 決議事項 >

議案第 1 号 令和 3 年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第 3 号）

議案第 2 号 令和 3 年度事業報告及び決算報告の承認について

議案第 3 号 令和 4 年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第 1 号）

議案第 4 号 次期監事の選任について

< 報告事項 >

- 1 令和 3 年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について
- 2 令和 3 年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について
- 3 令和 3 年度決算に基づく社会福祉充実残額について
- 4 理事長の業務の執行状況報告について
- 5 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
- 6 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
- 7 富士見保育園建替え準備状況 について

第 2 回 令和4年9月7日リモート開催 出席 評議員 9 人 理事 1 人

< 決議事項 >

議案第 5 号 令和 4 年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第 1 号）

< 報告事項 >

- 1 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 2 富士見保育園改築工事に伴う競争入札の実施について
- 3 富士見保育園園舎建替え費用の借入に係る資金計画の変更について
- 4 創立100周年記念事業実行委員会の設置について
- 5 令和 4 年度第 3 回理事会の招集について

第 3 回 令和4年12月1日リモート開催 出席 評議員 8 人 理事 1 人

< 決議事項 >

議案第 6 号 令和 4 年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第 1 号）

議案第 7 号 令和 4 年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第 1 号）

議案第 8 号 令和 4 年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第 1 号）

議案第 9 号 富士見保育園園舎建替えに係る資金の借入に伴う不動産担保の設定について

< 報告事項 >

- 1 令和 4 年度富士見保育園拠点区分支出予算の流用について
- 2 富士見保育園改築工事に係る一般競争入札及び施工業者との契約締結報告について
- 3 令和 4 年度上半期理事長の業務執行状況報告について

4	令和4年度上半期事業実施状況報告について
5	令和4年度第2回監事監査実施報告について
6	こひつじ保育園各階照明器具LED化更新工事委託契約について
7	令和5年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備業務の委託について
8	社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
9	社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
第4回	令和5年3月10日書面決議 評議員9人(同意)
<決議事項> 議案第10号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)	
第5回	令和5年3月24日リモート開催 出席 評議員8人 理事1人
<決議事項> 議案第11号 令和4年度法人本部拠点区分資金収支補正予算(補正第2号) 議案第12号 令和4年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号) 議案第13号 令和4年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号) 議案第14号 令和4年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号) 議案第15号 令和5年度事業計画及び資金収支予算の承認について	
<報告事項> 1 令和4年度法人本部拠点区分支出予算の流用報告について 2 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について 3 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について 4 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について 5 令和5年度予算に係る積立金の取り崩しの承認について 6 創立100周年デジタル記念誌等制作業務の委託契約の締結について 7 創立100周年記念事業について 8 富士見保育園建替え事業について 9 こひつじ保育園の運営について	

③監事監査 2回開催

令和4年度第1回

- 令和4年5月23日 出席 監事2人 理事長 各拠点職員
内容 ・令和3年度事業執行状況について監査
・令和3年度契約・人事・権利擁護に関する監査
- 令和4年5月20日 出席 監事1人 理事長 各拠点職員
内容 令和3年度計算関係書類及び財産目録について監査

令和4年度第2回

- 令和4年10月25日 出席 監事3人 理事長 各拠点職員
内容 ・令和4年度上半期事業執行状況について監査
・令和4年度上半期契約・人事・権利擁護に関

する監査

- ・令和4年度上半期計算関係書類及び財産目録について監査

④各種委員会等

ア 経営委員会 5回開催（5/31、8/16、11/2、12/20、2/27）

●委員 綱 春子理事長、川島克之理事、鷺見達也理事

●主な協議内容

リモートまたは参集して理事会予定議題の事前確認のほか、下記のような事項について協議を行った。

- ・令和3年度事業報告及び決算、社会福祉充実計画について
- ・富士見保育園改築工事に係る一般競争入札の実施について
- ・令和4年度の賃金規程等検討委員会について
- ・菊川保育園長期修繕計画について
- ・創立100周年記念事業について
- ・令和5年度各拠点当初予算の査定について

イ 人事評価委員会 2回開催（12/20、2/27）ほか

●委員 綱 春子理事長、川島克之理事、鷺見達也理事

●主な協議内容

今年度から、法人職員の人事に関する、協議、審査、判定など取り扱う組織として、経営委員が人事評価委員を兼務して運営を行った。以下のような事項について協議を行ったほか、常勤職員の採用試験及び採否判定、職員との個別面談（対面等）などを適宜実施した。

- ・ストレスチェック実施報告について
- ・令和4年度の人事評価について
- ・令和5年度に向けての人事について
- ・令和4年度昇任試験結果について

ウ 施設連絡協議会 11回リモート開催

●構成員 理事長、各園長・施設長、事務長

●主な協議内容等

8月を除き毎月第二火曜日に定例で実施した。適宜、理事会議案等の確認、各種委員会議題の確認を行ったほか、おもな協議内容は下記のとおりである。

- ・就業規程、育児・介護休業等に関する規則、賃金規程等ほか労務等関連規程などの改正について
- ・夏季賞与の支給方法について、人事院勧告による賞与支給月数について
- ・ストレスチェックの導入について、実施結果の概要について
- ・処遇改善費支給について
- ・令和4年度昇任考査の実施について
- ・新型コロナウイルス感染症感染予防対策について
- ・福祉サービス第三者評価について

- ・計画的な職員採用に向けて
- ・保育園長・副園長会議の組織図について
- ・令和5年度業務委託及び委託予算について
- ・令和4年度の人事評価について
- ・創立100周年記念事業の予算について
- ・職種別会議の方向性について
- ・ベタニヤホームだよりの見直しについて
- ・人材育成について
- ・自己啓発講座・資格取得試験料助成金について

エ 園長・副園長会 6回リモート開催（5/24、7/26、9/2、10/18、11/21、1/23）

各園からの近況報告、保育園担当理事からの報告のほか、下記のような内容で協議、検討、情報共有等を行った。

- ・各施設の状況報告、困りごと
- ・処遇改善等関連の書類作成外部委託について
- ・電帳法に伴う複合機導入検討について
- ・第三者評価について
- ・集金業務委託について
- ・ストレスチェックについて
- ・年次有給休暇について
- ・施設整備について
- ・職員研修計画について
- ・コロナ禍の対応について
- ・体育講師等外部委託講師について

オ 苦情解決第三者委員会 2回リモート開催

●委員 新井尚恵、飯村史恵、下田信二郎、藤田寿彦、峯田みどり<敬称略>

●開催日 第1回 令和4年7月20日（水）

第2回 令和5年2月3日（金）

●対象期間 第1回 令和3年10月1日～令和4年3月31日

第2回 令和4年4月1日～令和5年3月31日

●苦情等対応状況

各施設からそれぞれ案件について報告を行い、各委員から改善に向けての助言、指摘等を受けた。

施設 案件	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園
苦情				2
意見・要望	2	2	1	1

●情報公開

苦情等対応状況及び委員会からの意見や助言を法人及び各施設のホームページ

に掲載予定である。

カ 賃金規程等検討委員会 5回リモート開催（9/30、11/4、12/23、1/27、2/24）

●委員 松田繁雄理事(委員長)、川島克之理事(副委員長)、綱 春子理事、各園長・施設長、事務長

●検討内容

以下の3点を今年度の検討課題とし、今年度の検討スケジュールの確認後、期間契約職員雇用の必要性和検討項目について協議を行った。

- ・期間契約職員の雇用制度の導入について
- ・有期契約職員（非常勤職員）の処遇について
- ・人事評価制度の検証について

このうち、期間契約職員の雇用制度については、令和5年度から導入することとなったが、今後、多様な働き方のできる非常勤職員制度とすべく検討を行っている有期契約職員（非常勤職員）の処遇の見直しについては、採用時の時給基準単価表案まで作成したが、シミュレーションを行う必要などがあり継続しての検討となった。併せて、本格稼働する人事評価制度の検証を行っていく。

キ 看護職による会議

保育3園の看護師の連携・情報共有の場として令和4年度より不定期に開催。

第1回 令和4年6月17日（金） 於 母子生活支援施設

日常業務から感じること（園児の体調管理・保護者/職員の保健指導）、保育とのかかわり、今後取り組んでいきたいこと、健康診断について、ベタニヤだより記事掲載依頼

第2回 令和4年3月10日（金） 於 母子生活支援施設

令和4年度看護師として関わった事例紹介、話し合ってみたいテーマ、保育士や管理職との連携はどのようにしているか、令和5年度会議日程と進め方について

ク 給食職員による会議

保育3園の栄養士、調理師の連携・情報共有の場として令和4年度より不定期に開催。

第1回 令和4年6月23日（木） 於 母子生活支援施設 参加：9名

日常業務から感じること、職育についてのとりくみ 保育士との連携、今後取り組んでいきたいこと、課題など

第2回 令和4年10月7日（金） 於 母子生活支援施設 参加：8名

職員勤務体制について、アレルギー対応について、保育士との連携、次回会議について

(2)法人例規の見直し・整備

- ・社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正（6月）
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正（6月、11月、3月）
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム契約等に係る暴力団等排除措置要綱の制定（6月）

- ・社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正（8月、11月）
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正（3月）
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正（3月）

(3)法人創立100周年記念事業の準備

①創立100周年記念事業準備委員会 5回リモート開催（令和4年8月まで）

令和3年度から、各施設から職員が参加して準備委員会を組織し、職員への周知と参加意識の醸成を図りながら、記念事業の企画と実施方法について毎月（第二火曜日の午後）検討を行った。

- ・創立100周年記念事業に関するアンケートの2回目の企画・実施（回収 63件）
- ・各企画のスケジュールリング、企画の選定と作業のすすめ方
- ・デジタル記念誌の作成方針
- ・外部委員参加による実行委員会の立ち上げ

②創立100周年記念事業作業部会 8回リモート開催（9/13、10/11、11/8、12/13、1/10、2/14、3/14、3/29）

令和4年9月より、創立100周年記念事業実行委員会発足とともに、各企画を具体化するため、準備委員会を作業部会に改めより具体的な検討及び作業を行った。

③創立100周年記念事業実行委員会 3回リモート開催（10/17、12/14、2/14）

- 委員 綱 春子理事長（委員長）、山本 健氏、市野澤利明氏、和田真弓氏、伊藤 操氏、松田繁雄氏、高橋朋宏副施設長、荒井靖広主任

●検討内容

- ・創立100周年記念事業全体スケジュールについて
- ・記念礼拝と記念講演会及び会場について
- ・創立100周年デジタル記念誌の制作について
- ・その他の記念事業について ほか

④記念事業企画概要（令和4年度末時点）

- ・創立100周年記念礼拝 令和5年9月16日（土）午前開催
- ・創立100周年記念式典（功労者表彰、記念講演会、パネル展示）
令和5年9月16日（土）午後開催
- ・創立100周年記念座談会 令和5年6月実施
- ・創立100周年記念デジタル記念誌、記念えほんの制作・配布・配信
- ・創立100周年記念品の作製・配布

上記のほか、日本福音ルーテル教会、ルーテル学院大学との共催行事を企画

(4)富士見保育園建替え工事の遂行

①富士見保育園建替え委員会 新型コロナウイルス感染症の影響により未開催

- 委員 五十川 日、綱 春子理事、友田直人理事、松田繁雄理事、和田真弓理事、母子生活支援施設長、富士見保育園長 <敬称略>

コロナ禍においても建替え工事は順調に推移しているため、令和5年度からは富士見保育園の今後のあり方等について検討する場として改めていく予定。

②利用者及び地域等への説明・呼びかけ

- ・保護者向け建替え説明会 令和4年5月28日（土）午前10時～ 参加者30人
- ・地域向け建替え説明会 令和4年5月28日（土）午後2時～ 参加者3人

③建設業者の入札の実施

- ・入札公告（期間） 令和4年8月29日～9月9日
法人のホームページのほか建設業界新聞（Web版含む）に広告記事を掲載。
- ・制限付一般競争入札の実施 令和4年10月7日（金） 於 法人本部
参加希望業者5社 うち辞退2社 入札参加3社 第1回開札にて落札

④竣工式の実施 令和4年11月21日（月） 於 富士見保育園園庭

2 職員へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

具体的な諸課題について、経営委員会、賃金規程等検討委員会及び施設連絡協議会において協議、検討を行い、以下のような取り組み状況である。

(1)適正な人事及び労務事務の遂行

①新たな人事評価の実施

今年度より行動評価のみ運用を開始した。令和5年度からは目標管理と意向調査を稼働させ、併せて各評価シート及び運用方法等の見直し、検討を行う。

②職員採用時レクチャー

令和4年4月1日に、令和4年4月1日付で採用発令及び異動発令を行い、同日に新任職員レクチャーを理事長及び事務長が実施した。

③各種人事・労務事務

各種人事・労務事務は適宜処理することができたが、一部の採用事務については採用方法など再度検討のうえ、令和5年度以降早急に改善を要する課題となった。

④期間契約職員雇用制度の導入及び非常勤職員の処遇等に関する協議

賃金規程等検討委員会で検討を行ってきた期間契約職員雇用制度を令和5年度から施行するに至ったが、有期契約職員の採用基準や賃金基準など処遇等に関する協議は令和5年度も引き続き継続することとなった。

⑥新型コロナウイルス感染症流行下における労働環境の整備

特別有給休暇など必要な休暇の取得や国の助成制度の申請事務を行った。

(2)働き方改革による労働環境の整備

令和4年4月施行及び10月施行となる育児・介護休業法の改正にともなう規程改正を行った。

(3)心の健康維持などへの支援

- ①メンタルヘルスチェック試行に向けて各施設長へ説明と職員への周知を依頼した。

- ②ハラスメント防止規則に基づくハラスメント防止のための法人内の仕組みづくりとして、令和4年度から各施設に相談窓口担当者を配置した。

(4)職員の状況

令和4年度の状況（令和5年3月31日現在）（単位:人）

拠点 形態	法人 本部	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園	合 計
常勤職員	2 (2)	11 (11)	28 (26)	27 (27)	27 (24)	95 (90)
非常勤職員	0 (0)	5 (2)	16 (15)	7 (7)	11 (8)	39 (32)
合 計	2 (2)	16 (13)	44 (41)	34 (34)	38 (32)	134 (122)

※（）は
令和4年4
月1日現
在)

令和3年度末の状況（令和4年3月31日現在）（単位:人）

拠点 形態	法人 本部	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園	合 計
常勤職員	2 (1)	10 (11)	24 (28)	25 (26)	25 (26)	86 (92)
非常勤職員	0 (1)	3 (2)	14 (14)	7 (7)	10 (9)	34 (33)
合 計	2 (2)	13 (13)	38 (42)	32 (33)	35 (35)	120 (125)

※（）は
令和2年度
実績（令和
3年3月31
日現在）

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)法人の取り組みの周知

①ベタニヤホームだよりの発行・配布

昨年度より法人創立100周年に向けての記事を連載中、ホームページへのバックナンバー掲載も継続している。141号（春号）、142号（夏号）、143号（秋号）、144号（冬号）を各810部発行した。

②法人全体の事業案内ガイドを作成・配布

富士見保育園新園舎竣工まで内部作成し最小範囲で配布している。

(2)理解者・支援者への呼びかけ

創立100周年記念事業を通じて新たなアプローチを検討していく予定である。

(3)地域公益活動への参画、支援

①母子生活支援施設が行うアウトリーチパントリー（食支援活動）の実施

母子生活支援施設事業実施状況・評価報告16頁～に記載

②墨田区社会福祉法人連絡会

新型コロナウイルス感染症の流行により今年度の活動はなかった。

III 令和4年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)人材育成プログラムの充実

①保育園主任研修の実施

今年度から保育3園の主任職を対象に講話とグループワークを2回に分けて実施。

第1回 令和4年7月23日(土) 於 母子生活支援施設 参加: 8名

講話「キリスト教保育の理論と実際」 講師: 綱 春子理事長

第2回 令和4年11月16日(水) 於 母子生活支援施設 参加: 8名

「第1回主任研修を受け、保育の実践でいかしたこと/見えてきた課題」

②新たな人事評価制度の施行と検証の実施

II-2-(1)-①に記載

③今年度下半期から予定していた法人の人材育成方針及び研修体系案づくりは、計画外の優先業務により令和5年度に繰り延べた。

(2)人材確保対策の強化

①必要な予算化を図り、各施設の求人情報の提供環境を整えたが活かされなかった。

②東京都福祉人材センター主催の就職フォーラム等への参加は叶わなかった。

③採用面接のオンライン対応を開始した。

④在籍職員への意向調査を実施した。(令和5年度の人事への反映はせず。)

(3)礼拝の場の提供

①イースター礼拝	令和4年4月22日(金) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。講演会実施せず。
②法人創立99周年記念会	令和4年9月15日(木) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。永年勤続者表彰を併せて行った。
③クリスマス礼拝	令和4年12月9日(金) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。祝会実施せず。
④東京大空襲犠牲者追悼礼拝	令和5年3月8日(水) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。講演会実施せず。
⑤施設連絡協議会における定例礼拝	日本福音ルーテル聖パウロ教会より小勝牧師を8月を除く毎月第二火曜日に開催する施設連絡協議会に招き実施(リモート実施)した。

(4)ルーテル教会・関係団体とのかかわり

日本福音ルーテル教会総会及び日本福音ルーテル教会東教区総会常議員として、理事長が福祉に携わる法人を代表して参画し、教会と福祉現場のパイプ役を果たしているほか、社会福祉法人として、また、保育園として以下のるうてる法人会連合の各団体に参加・加盟して情報の共有を図るとともに役職員の研鑽の場としている。

①ルーテル社会福祉協会

日本福音ルーテル教会内の10の社会福祉法人によって構成されているルーテル社会福祉協会の運営委員会に法人職員が委員として参画、社会福祉法人・福祉施設間で情報交換や連携を図り、研鑽に努めている。毎月の運営委員会への参加と令和4年度から会報紙の作成・発行を担当している。

また、今年度は令和4年8月22日にリモート開催された総会・研修会に参加した。「共生社会の実現を願って」と題された、社会福祉法人慈愛園前理事長の潮谷義子氏の研修には、役員3名、職員7名が参加した。

②ルーテル幼稚園・保育園連合会

日本福音ルーテル教会内の49園（幼稚園15園、認定こども園11園、保育園23園）で構成されている連合会に法人の保育園3園が加盟している。連合会では、共通の課題や取り組みなどを共有するとともに交流、研修等を行っており、今期は、菊川保育園から園長が役員として参画している。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)拠点間及びテレワーク環境に必要な情報インフラ整備の検討

①サイボウズ等のインフラシステム導入の検討是非の調査・研究

昨年度に引き続き、インフラシステム（電子決裁機能含め）の今後の導入に向けて情報収集等準備を行ったほか、今年度上半期には法人本部にリース更新時期に合わせて改正電帳法に対応した複合機の導入を行った。また、菊川保育園、富士見保育園への複合機更新の支援を行った。

②電子決裁機能の調査・研究

①のとおりであり、Chat GPT等AIも含め令和5年度も引き続き調査研究を行う。

(2)富士見保育園の建替え事務（再掲）

II-1-(4)に記載

(3)災害対策支援

法人本部においても、一定期間泊まり込みでの業務を可能にするため、簡易バッテリー、寝具、調理器具、水、保存食など災害用備品、備蓄品を整備した。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)防災計画の策定

今年度策定予定であったが、検討を行うことはできなかった。

(2)BCPの策定

今年度策定予定であったが、検討を行うことはできなかった。

(3)法人本部災害対策

水害はじめ大規模災害発生時、法人本部職員が事務局にとどまり業務継続を行う上で必要な備品や備蓄品の整備を図った。

IV 令和4年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算（収入・支出）の執行状況

取り組み	内 容	収入額・支出額	予算額
(1)各拠点からの法人本部送金額の増	法人本部運営財源（拠点区分間繰入金）	21,400,000 円	21,400,000 円
(2)常勤職員1名の増	令和4年度常勤職員2名分給与（令和3年10月より常勤職員1名採用、非常勤職員1名減）	9,673,407 円	9,380,000 円
(3)常勤職員1名の増	令和4年度常勤職員2名分賞与（同上）	3,629,265 円	3,616,000 円
(4)求人募集広告費	キャリアタスUC職員募集広告費用（広報費→手数料）	110,000 円	101,000 円
(5)広報紙折込委託費	ベタニヤホームだよりの折り込み・封入・ポストイング経費（障がい者福祉施設への委託費用）	165,409 円	176,000 円

※予算額は当初予算

令和4(2022)年度 母子生活支援施設ベタニヤホーム 事業実施状況・評価報告

I 令和4年度下半期の施設運営方針に基づく取り組み状況と成果・課題について

- ・ 重点項目1：職員の専門能力向上・社会的養護中長期計画策定
上半期から母子生活支援施設の支援を地域に向けて展開するための方法を経営層で模索し、先行事例を行っている施設での実地研修を6名に対して実施した。社会的養護中長期計画は新型コロナウイルス対策が更に必要となったため今年度の策定を見合わせた。
- ・ 重点項目2、3：公益活動推進
食支援は「ORPP2.0」として実施回数(11回)、ネットワーク形成、行政との連携すべて予定通りに実施された。
- ・ 重点項目4：接遇向上に向けた取り組み
新型コロナウイルス対策のため、優先度を下げ、来年度に実施予定とした。
- ・ 重点項目5：ICT環境の整備
PC(8台)の入れ替えを実施した。
- ・ 重点項目6：心理職の機能的活用
心理検査の施設内実施を開始した。また食支援における心理職の相談を開始した。

II 令和4年度下半期の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)学童支援

- ・ 子どものアセスメントシートや自立支援計画票に基づいて、一人一人に合わせた個別支援を行った。また、施設内で新型コロナウイルス感染者が発生した際には、対応フェーズに則り集団活動から個別活動にシフトした。
- ・ 助成金で購入した自転車を利用し、子ども達に自転車の乗り方や交通ルールを教えた。乗れるようになった子どもと地域の公園まで出掛けた。また、SNSに関する講習を行いネットリテラシーの向上に努め、個人のルールの策定を行った。

(2)学習支援

- ・ 中学生の定期考査に向けた学習支援と小学生の日々の宿題対応を主とし、基礎学力の定着のための支援を行った。
- ・ 高校受験の為の面接練習を実施した。また、塾や奨学金に関する情報を該当する世帯に説明した。

(3)ボランティアとの協働

- ・ 墨田区BBS会と協働し子どもの学習支援を行った。また、退所児童への学習支援はオンラインで提供し、継続的なボランティアとの関係が形成された。

(4) 社会生活への支援

- ・ 飯田市立上村小学校とのオンライン交流として、野菜のプランター栽培を行い、生育状況を互いに発表しながら地域による野菜の育ちの違いを学んだ。1月には年賀状の交換を行った。
- ・ 「地域食堂こだち」に手伝いから参加し、食支援を行う施設として多くの人たちが子どもの食に関心を持ってきていることを理解させた。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1) 親子へ支援

- ・ 事務所前本棚の書籍やDVDの入れ替えを行い、子育てに役立つ情報を提供すると共に、書籍を通して職員との関係形成を図った。
- ・ 少年指導員とも連携し、親子調理や親子面談等、個別化した支援を積極的に実施した。

(2) 就労へ支援

- ・ 心理療法担当職員と連携し、就労を目指す利用者を対象としたピアサポートプログラムを実施した。

(3) 生活への支援

- ・ 新型コロナウイルス感染者の出た世帯には、日々の健康観察、買い物代行、パルスオキシメーターの貸し出し、ゴミ出しの代行などを行い、母親の通院時等に子どもの保育を行った。
- ・ 年間を通して、コロナ禍により居室にこもりがちにならないように、ヨガやラジオ体操を屋上やホールを利用して行えるようすることで、利用者の健康維持管理を行った。

(4) 母親の主体的活動への支援

- ・ 4歳未満児の世帯には外部講師による子育て講座を1回実施した。4歳以上児の世帯にはデジタルデバイスの活用方法と注意点を学ぶSNS講座を企画したが、コロナ感染世帯が施設内にいたために、開催できなかった。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1) 地域への食支援

- ・退所者を含めた地域向けパントリーを4月から9月を除く毎月開催（計11回）毎回10世帯前後、計141世帯（のべ366人）の利用があり、その中から施設の緊急一時保護利用1世帯、墨田区の相談1世帯につながった。

墨田区内の食支援ネットワークのロジ拠点として活動。今年度は児童館2つと新たにつながりネットワーク会議は2回開催した（構成団体数17、含む墨田区）。

- ・墨田区議会（食品ロス対策特別委員会）で、ベタニヤホームの食支援について説明し、すみだ清掃事務所、墨田区厚生課との連携を強化し、次年度以降の予算獲得や次年度新事業の展開を可能とした。

(2)地域交流

- ・コロナ禍により地域交流ホールの貸出しはなかった。
- ・年末の町内会夜警に12月28日に職員4名、12月29日職員3名が参加した。

III 令和4年度下半期の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 人材育成

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)施設独自研修の質的向上

- ・次年度からの新たな体制づくりのために、福岡市の百道寮に職員を3名ずつ2回派遣し、実地研修を受けた。
- ・入所件数が増加している婦人保護施設慈愛寮における支援の実際を学ぶために、職員2名ずつ2回派遣し、実地研修を受けた。

(2)指定研修と希望研修の2分化

- ・目標管理面接を実施し、内容に応じて職員個々に受講研修数を規定した。年間での受講数は全員規定を超えた。
- ・社会福祉士受験に向けて学習を継続している職員が3名おり、次年度以降の受験が予定されている。
- ・墨田区養育家庭体験発表会に職員4名が参加し、今後の里親支援についての検討素材を得た。

(3)実習生指導方法の確立

- ・実習生指導マニュアルを策定した。また、施設の人材確保のため実習生指導に注力した結果、実習後に4名の実習生が非常勤職員として常勤職員の補助業務を行っている。
- ・全ての職員がスーパーバイザーとなり一人の担当する実習生を実習期間中指導する体制がほぼ確立し、指導内容の差をマニュアルにより減少させることができた。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)次年度に向けた施設設備充実の検討

- ・避難通路である外階段等に汚れが目立ち、避難時の転倒が想定されたため、清掃を行う必要がある。そのための水栓取り付け工事を実施した。今年度部品製造が間に合わず実施できなかった防災生活用水確保について再度工事を進める。

(2)利用者居室の修繕計画の検討

- ・設備器具点検を実施し、居室内に不備、不具合がないか確認した。小修繕は職員実施しているが、業者に修繕依頼をする箇所もあり、打ち合わせを行いながら修繕を行った。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)新型コロナウイルス第7波対応マニュアルの策定

- ・上半期に策定したマニュアルに沿い、陽性者に対応した。本マニュアルの活用より、事業の一部停止や再開を利用者に明示してきた。

(2)新型コロナウイルス陽性職員対応マニュアル

- ・一人暮らしの職員が感染した場合の対応マニュアルを策定し、マニュアルに則り1回の対応を行った。

IV 令和4年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算（収入・支出）の執行状況

取り組み	内 容	収入額・支出額	予算額
(1)職員コロナ感染防止等	居室における感染者への支援による職員の感染を防止する	516,000 円	400,000 円
(2)広報活動の推進	食支援を中心にまとめたベタニヤホーム便り、来訪者向け地図等を制作。	35,000 円	50,000 円
(3)食支援の展開	地域向け食支援の拡大と支援者ネットワーク形成	106,446 円	50,000 円

V 令和5年度各種実績報告

1 利用者概況

定員

20 世帯

平均在籍世帯数

14.3 世帯

平均充足率

71.3%

(人)

母親等		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
利用区等		墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	
20歳未満																										0
20～25歳			1									1	1	1	1		1		1		1		1		1	10
26～30歳		2		2		2		3		3		4		4		3		3		3		3		3		35
31～35歳		4		4		4		3		3		3		3		4		4		4		4		4		44
36～40歳		3	1	3	1	3	1	3	1	3		3		3		3	1	3	1	3		3		3		42
41～45歳		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2	1	3	1	2	1	28
46～50歳			1		1		1																			3
51～59歳			1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	12
60～65歳																										0
66～70歳																										0
71歳以上																										0
合計		11	4	11	3	11	3	11	2	11	1	13	2	13	2	12	3	12	3	12	3	13	3	12	3	171
子ども		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
利用区等		墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	墨田区	他区市	
就学前	0歳児	2		2		2		2		2		3		3		3		3		3		4		3		32
	1歳児	1	2	1	1	1	1	2	1	2		2		2		2		2		2		2		2		26
	2歳児	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		3		2		25
	3歳児	1		1		1							1		1		1		1		1		1		1	10
	4歳児	1		1		1		1		1		2		2			1		1		1		1		1	14
	5歳児	3		3		3		3		3		3		3		3		3		3		4		4		38
小学生	1年生	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		24
	2年生	2		2		2		2		2		2		2		1		1		1		1		1		19
	3年生																									0
	4年生	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		12
	5年生	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		12
	6年生																									0
中学生	1年生	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		24
	2年生	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		12
	3年生		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	12
高校生	1年生																									0
	2年生		1		1		1																			3
	3年生																									0
その他																									0	
合計		19	4	19	3	19	3	19	2	19	1	21	2	21	2	18	3	18	3	18	3	21	3	19	3	260

2 職員概況

職名・職種	9月30日		3月31日	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1人	人	1人	人
母子支援員	3人	人	3人	人
少年指導員	3人	人	3人	人
保育士	1人	1人	1人	1人
個別指導担当職員	1人	人	1人	人
心理療法担当職員	1人	1人	1人	1人
調理員等	1人	人	1人	人
嘱託医	人	1人	人	1人
その他の職員	人	2人	人	2人
合計	11人	5人	11人	5人

3 アフターケア・国籍

インケア・アフターケア件数(全支援件数)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インケア	431	463	445	341	462	458	444	400	482	402	389	469	5186
アフターケア	26	22	25	62	55	38	35	35	37	32	33	40	440

外国籍の入所世帯状況 (世帯)

国名	世帯数	
	9月30日	3月31日
フィリピン	1	1
ミャンマー	1	1
ウガンダ	1	1
合計	3	3

4 緊急一時保護実績(令和4年度契約区市)

(人)

区	保護対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
墨田区	母親		8	24	30	22				5	8			97	
	子ども	未就学児		8	24	30	22				15	24			123
		小学生			4	24									28
		中学生													0
		その他													0
	単身女性						23	10				1	7	41	
中央区	母親						3	26						29	
	子ども	未就学児					3	14						17	
		小学生							12					12	
		中学生												0	
		その他												0	
	単身女性								11					11	
文京区	母親													0	
	子ども	未就学児												0	
		小学生												0	
		中学生												0	
		その他												0	
	単身女性													0	
港区	母親	4												4	
	子ども	未就学児													0
		小学生	8												8
		中学生													0
		その他													0
	単身女性	9			7	9								25	
千代田区	母親								1	31				32	
	子ども	未就学児													0
		小学生								2	62				64
		中学生													0
		その他													0
	単身女性													0	
合計	21	16	52	91	53	29	62	14	113	32	1	7	491		

* 多摩市は実績なし

5 食支援(食品配布)年間実績

(世帯)

開催日	4月23日	5月21日	6月25日	7月23日	8月27日	9月	10月22日	11月26日	12月24日
退所者	9	7	5	9	9	開催 せず	8	8	10
地域在住	9	2	2	11	3		2	3	8
合計	18	9	7	20	12	0	10	11	18

(世帯)

開催日	1月21日	2月25日	3月18日	合計
退所者	9	9	8	91
地域在住	3	3	4	50
合計	12	12	12	141

令和4年度(2022)年度 菊川保育園 事業実施状況・評価報告

I 令和4年度の施設運営方針に基づく取り組み状況と成果・課題について

7月はほぼ毎日のように「コロナ陽性者報告書」「行動記録」の作成に追われていた。職員の家族感染による休みも増えていたが、職員同士協力し合うことで休園や休みの協力依頼することなく通常運営が出来た事は感謝である。また、育休3名取得の中、補充体制を考えながら安定した職員体制になるよう配慮した。

コロナ禍でも『今できる事』を再考し、食育や在宅子育て支援、行事等 状況に応じて取り組みを緩和させていったことで、子ども・保護者・地域のニーズに応えることが出来た。

- ・「子どもの思いや願いを受け止めること」の実践→今まで、これからの保育の検証となるよう研修を計画中。
- ・「パートナー制度」→ただ話を聞いてあげる関係から パートナーの育成もねらいに入れた。目標課題を設定し、結果を聞くだけでなく 進捗状況を確認できるよう年3回の面談計画を行う。
- ・SDG sの取り組み→SDG sについて子どもと一緒に話をする場を設けることで、資源の大切さを少しでも理解し、子ども自らSDG sに繋がる発言が出る場面も見られた。
- ・コロナ禍の取り組み→新型コロナウイルスについては、未満児クラスで集団感染が発生し、クラス休園を余儀なくされたが、その後は集団感染も起こらなかった。クリスマス会なども人数制限と感染症対策を行い、開催することが出来た。
- ・法人100周年に向けて、日々準備を進めている。

II 令和4年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)神様の愛と恵みに感謝する

- ・神様への子どもの素朴な疑問を牧師に伝えたり、対話をしながら礼拝を守れたことで、『身近な存在』として感じる事が出来た。

(2)子ども達が主体的に生活する活動

- ・子どもの興味、発信から日常の活動に取り入れ、計画、子どもの発達、興味、関心を捉え、遊びの環境設定、玩具の準備を行った。また、子どもの思いを汲み取りながら 共に遊びを深めていく保育が出来た。
- ・5歳児クラスでは、墨田区の協同的学びプロジェクトに参加し、自分達の保育を客観的に振り返るとともに 他園との共有が図れた。
- ・早めに検討を心掛けたが 予期せぬ集団感染が発生し、急遽日程を変更せざるをえなかったが、行事も保護者へ迅速に発信することで 大きな混乱は無かった。
- ・要保護児童・母親の疾病など様々なケースを受け入れており、専門機関(児童相談所/総合センター/心理相談/療育機関/保健センター)、家庭と連携を取りながら一人ひとりに合った援助を行った。

(3)異年齢保育の取り組み

- ・以上児クラスの保育者が意図して3人組をつくり、クラス内では経験出来ない関わりを通し、成長につながる 気づきのきっかけとなった。

行事や散歩先での活動にて 以上児、未満児の交流が出来た。

(4)保育展開の共有

- ・日々の保育を見える化し、クラスだより、会議を通して 子どもの育ちや保育を共有した。ドキュメンテーションマップを作成することで（クラス間を越えてはあまり出来ていないが）、保育の流れ、保育者の動きなど 良い点、改善点など、意見を出し合い 互いに相談、助言し、理解し合える環境づくりを行った。

(5)食育

- ・保育室と給食室で、喫食状況や気付きを伝え合うため、クラス毎の交換ノートを活用し、情報交換を行い、日々の給食に反映した。
- ・果物、野菜の栽培や、子どもから発信された献立を実現したり、給食職員が保育室にて調理する機会を設け、食への興味、関心を広げた。

(6)身体機能の発達を促す身体づくり

- ・例年とは違うやり方で 混乱することもあったが、その環境で出来ることを 専門講師と相談し、実施することが出来た。また、発達を伸ばすための相談に対し、適切なアドバイスを頂いたり、体操のカリキュラムに取り入れてもらって、実践することが出来た。

(7)幼保小中一貫教育 豎川中学校ブロック

- ・区の進める幼保小中一貫教育に参加。今年度の重点目標『英語教育』『幼保小のスタートプログラム』において、交流などの直接関わるプログラムは未実施。

2. 保護者へのかかわり

(1)園の保育方針、保育の取り組みを保護者に向けて発信

- ・面談や相談等、話をする機会を作っていくことで 園の取り組みを伝えたり、家庭での姿の共有。関わり方を考えながらサポートしていくことが出来た。

- ・HPを「イベント・行事」から、「日常の保育」を発信するよう、変更した。園内に写真の掲示も増え、見える化を実践している。今後は動画の配信も検討していきたい。
- ・保育参加に関しては、日程は特別設定せず、希望者のみ随時受入れとしているが参加する人は少なかった。周知方法を検討していく必要がある。
- ・献立のレシピは玄関に設置する他、希望者に個別に対応している。来期はHPも活用し、離乳食の動画なども配信していく。

(2)保護者同士のつながり、育ち合い

- ・年度初めにオンラインによる保護者同士の交流を兼ねた交流懇談会を実施した。来期も引き続き計画していく。

3 地域へのかかわり

(1) 世代間交流の継続と地域に向けての情報発信

- ・計画通り行うことで、ハガキの返信をもらえたり、喜びの声を聞くことが出来た。また、降誕劇の衣装作りをしていただいたり、保育材料の提供など 間接的に関わることが出来た。来期は少しずつ交流の場を設けていく。
- ・職場体験は、今年度も学校単位では実践されなかったが、学校の夏休みなどの期間に個別の受入れを発信することで 参加者が増加した。

(2) 在宅子育て支援の拡充

- ・マタニティ体験、オンラインでの申し込みを行ったことにより、参加者が増えた。実際の子どもの姿を見て、イメージが湧くなどの感想を頂いている。
- ・0.1.2歳児を対象として、感染症対策をふまえ、戸外での交流を企画したが参加者が少なかった。また、育児体験講座をリモートにて計画したが、午睡時間に設定したこともあり、参加者がいなかった。今後は設定時間や発信の方法を検討していく。

(3) つながりある居場所づくり

- ・マタニティ講座実施。母親学級なども休止していることもあり、夫婦で参加している人が多かった。来期も引き続き行っていく。在宅子育て家庭や、妊産婦が交流できる場を提供していく。

IV 令和4年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

1 人材育成

(1) 職員の意識改革

- ・組織の一員として自覚の足りない職員が多いと感じる。新しい評価シートも利用して自分の役割について考える場を増やしていきたい。

(2) 職員の育成

- ・パートナー制度を継続し、後輩職員の意見を聞き取り、年3回の面談（目標設定、経過確認、振り返り）を通して、自身の働きを見直す機会となった。また、相談したり 必要なサポートが分かり、安心して働ける職場づくりに繋がっている。
- ・役割分担について振り返る場を設けなかったため、来期は各々のリーダーごとに集まり振り返りの場を設け、役割について再確認を行う必要がある。
- ・昼礼や大職を昼の時間に行うことで、参加者も限定され、正しく情報共有が出来ないことがあった。情報共有の仕方について検討が必要。

(3) 職員の資質向上

- ・今年度は事務所発信により、1名外部講師を招いて勉強会を開催した。来期は園内研修のほか、常勤対象の個別研修計画を作成し、実践していく。
- ・勤務時間の隙間時間を利用し、3名がオンライン研修を受講した。来期も設ける。

(4) 働き方改革

- ・今年度も有休消化率は下がることは無かったが、取得率に差がある為、みんなが平等に休めるようにしていきたい。

- ・行事に関しては、役割分担と段取りを決めている。事務作業に関しても、フリーの職員の補充やクラス内で調整することで、勤務時間内に行うことが出来た。
- ・Wi-fi環境の整備が出来なかったため、来期へ持ち越しとする。

(5) 育成支援

- ・実習生、ボランティアを人材確保につなげることは出来なかったが、将来の保育士を育てる為 来期も積極的に実習生を受け入れていく。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)計画的な建物修繕

- ・にじ棟屋上のダクト工事・6月
対策を3段階に分けての工事。第一段階での対応で効果が見られた。
- ・Wi-fi環境の整備予定
2棟ある建物の構造上、環境を整えるのが難しい。調査してもらっている段階。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)保育保健及び保健衛生

- ・看護師による手洗い指導や、エビペン取り扱いの注意事項を発信してもらうことで職員の意識を高めることが出来た。
- ・サーベイランスにて得た区内情報を、昼礼にて報告し、共有。園内体調不良者がいる場合は、速やかに関係各所へ報告し、連携することで 最小限の感染に抑えることが出来た。保護者への情報発信を速やかに簡潔に行えるよう心掛けると同時に、看護師とともに情報を共有することで 早めに対策を取ることが出来た。

(2)感染症対策

- ・新しい消毒ディスペンサーを購入し、保護者の協力しやすい環境を設定。
- ・感染症発生時は、引き続き行ってきたが 発生したクラスは重点的に消毒を行うことで 大流行を防ぐことは出来ている。

(3)防災・防犯対策の徹底

- ・防災設備点検表を活用し、必要に応じて修繕を行うことが出来た。AED、トランシーバーを実際に使用して 訓練することで留意点などに気付くことが出来た。
- ・常勤、非常勤の家庭環境を踏まえて見直し、 時差退社計画を作成した。
- ・訓練時に非常食の置き場所を確認し、災害時の対応についても情報を共有することが出来た。
- ・不審者対応は勉強会を開催することが出来なかったもので、来期に再度計画をする。
- ・ヒヤリハットの書式を簡易的にしたことで、報告も増え、職員間で共有もでき、同じ事故が起こらないように心掛けた。
- ・応急救護訓練、通報訓練を年に一度実施することで 振り返りの場を持つことが出来た。来期の通報訓練に関しては より実践的な内容にしていく。

- ・毎月の避難訓練と消火訓練の内容を実践的にすることで、どんな場面でも臨機応変に対応することが出来るよう、職員間で共有した。散歩マップを事前に提出することで 経路に変更があった際は 必ず園に報告する他、人数チェック表の記入により 定期的に人数確認する意識づけに繋げることが出来た。

IV 令和 4 年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算（収入・支出）の執行状況

取り組み	内 容	収入額・支出額	予算額
にじ棟屋上ダクト工事	近隣への騒音対策の為の工事	280,500 円	2,000,000 円

V 令和4年度 各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 120人 平均在籍園児数 114人 入所率 %
(単位:人)

年齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	定員													
0歳児	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	106
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	21	21	21	21	21	21	21	20	20	21	21	21	21	250
3歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
4歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	283
5歳児	24	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	230
合計		116	116	115	114	114	115	114	113	114	114	114	114	1373
障がい児		8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
障がい児等		1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
延長保育		9	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95
短時間延長保育		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
1時間単位保育		6	8	15	13	12	16	10	11	13	16	13	16	149
短時間スポット延長		5	1	4	2	5	2	2	1	2	2	2	2	30

各区市延べ園児数 墨田区 1328人 江東区 44人 小田原市 1人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在		3/31現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
園長	1人	0人	1人	0人
副園長	1人	0人	1人	0人
主任保育士	2人	0人	2人	0人
保育士	17人	8人	18人	9人
看護師	1人	0人	1人	0人
給食	5人	1人	5人	2人
保育補助・給食補助等	0人	4人	0人	5人
事務・用務	0人	0人	0人	0人
合計	27人	13人	28人	16人

3 年間行事

(1) 定例行事

・誕生日会（園児の誕生日に行います）・0歳児健診 ・身体測定
・避難訓練、消火訓練 ・応急救護訓練 ・おはなし会 ・体育指導
・絵本貸し出し

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	入園進級礼拝・クラス交流会（リモート）・イースター礼拝	
5月	春の健康診断	内部監査
6月	花の日礼拝・歯科検診	
7月	七夕	
8月	夏まつり	ルーテル社会福祉協会研修
9月	一斉引き渡し訓練	法人創立記念礼拝
10月	赤い羽根共同募金 運動会 収穫感謝礼拝 秋祭り	
11月	子ども祝福式 秋の健康診断 歯科健診	
12月	クリスマス会	法人クリスマス礼拝
1月	新年礼拝	
2月	節分 お店屋さんごっこ	
3月	卒園児リクエスト献立 卒園式 お別れ遠足	法人追悼記念礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
4.5月	ファミリー交流懇談会（全クラス）
7月	個人面談（5才児）
9.10月	個人面談（3,4,歳児希望者）
1~3月	個人面談（全クラス）

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
園内研修	おんぶ抱っこ研修会	3回	22人
キャリアアップ研修	乳児保育	2回	2人
〃	障害児保育	2回	1人
〃	マネジメント	2回	1人
東社協	メンタルヘルス研修（メンタルヘルスの基礎知識）	1回	2人
〃	メンタルヘルス研修（セルフケアとストレスマネジメント）	1回	3人
〃	部下後輩を育てるコーチング	1回	3人
〃	咀嚼と嚥下	1回	3人
〃	コロナ禍だから知りたい免疫の仕組み	1回	4人
〃	子どもの発達と食事の関わりについて	1回	4人
〃	アレルギーの最新情報と保育園での対応	1回	4人
〃	子どもの発達理解と保護者支援	1回	3人
墨田区子ども子育て支援課	安心安全な保育環境について考える	1回	3人
〃	障がいのある子どもや関わりの難しい子どもの保育	1回	3人
〃	重大事故を防ぐ園づくり 事例から学ぶ安全な保育	1回	1人

〃	新人研修	3回	1人
〃	保育所における自己評価ガイドラインの改定を学ぶ	1回	1人
〃	看護師交流会	1回	1人
東京都民間保育園協会	東京都の保育行政及び指導検査研修会	1回	1人
ルーテル社会福祉協会	共生社会の実現を願って	1回	1人
墨田区園長会研修	子どもの主体性を引き出す環境設定とその方法	1回	1人
〃	公定価格について	1回	2人
	障害児講座 なぜかわりがむずかしいの？	1回	1人
	〃 赤ちゃんから学ぶ人間らしさの原点	1回	1人
日本幼少児健康教育学会	コロナ禍における保育所と感染症対策	1回	1人
日本保育協会	看護師の保護者とのコミュニケーション	1回	1人
合 計		延 23回	延 38人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
武蔵野大学	令和4年 6/13～6/27	1人
東京未来大学	令和4年 8/16～8/31	1人
武蔵野大学	令和4年 11/7～11/21	1人
大妻大学	令和4年 11/7～11/22	1人
東京成徳大学	令和4年 11/28～12/10	1人
大妻大学	令和5年 2/6～2/21	1人
東京YMCA社会体育・保育専門学校	令和5年 2/13～2/24	1人
道灌山学園保育福祉専門学校	令和5年 2/27～3/10	1人
合 計		延 8人

職場体験受入れ状況

江東区立深川第4中学校	令和5年 2/7～2/9	3人
合 計		延 3人

令和 4（2022）年度 富士見保育園 事業実施状況・評価報告

I 令和4年度の施設運営方針に基づく取り組み状況と成果・課題について

- ・今年度から週休2日制を取り入れることとなり、上半期から多くのとまどいがあった。特に保育士からは以前より働きづらくなった、日々の保育の負担増や保育の質を保つのが難しく感じるという意見が多くあった。社会の流れに沿った働き方ではあるが富士見保育園が培ってきたものと共存するには様々な課題があり、人的配置を今以上に増やすなど改善に向けて進めていかなければいけない。
- ・園舎建替えが始まるに伴い、「園舎ありがとう」の企画を職員を中心に行うことができた。多くの卒園児・保護者・関係者の方に来ていただき皆で園の思い出を振り返り楽しい時間をもつことができた。
- ・11月の起工式をもって建替え工事が始まり、園庭遊具の撤去や木々の伐採から行われた。思い出深い物がなくなっていくことに職員、保護者と複雑な気持ちではあったが未来に向けて希望をもち進めていく。園舎の器具備品、遊具を職員と選定していく。

II 令和4年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)主体性・一人ひとりを大切に

- ・子ども一人ひとりを尊重する。年齢で決めるのではなく今年度のクラスの様子、一人ひとりの様子を踏まえたうえで日々の生活、行事等を行ってきた。これはコロナ禍において見直せた部分でもあるので今後コロナが治まったとしてもその都度職員と話し合い子どもをまんやかに進めていく。

(2)保育の質の向上

- ・年度終わりの園内研修では担当制保育の振り返りを行った。担当制保育を取り入れてから約20年が立った。立ち上げた職員から新しく入り担当制保育というものを実践しながら学んだ職員がいる中でもう一度、なぜ担当制を取り入れたのか大事にしなければいけないこと崩してはいけないことを話し、この思いをもって日々の保育を進めていく意思統一を図った。

(3)食育

- ・年長児が米作りを行い収穫することができた。実際に収穫したお米を使用することはできなかったがクッキングでおにぎりをつくりお米の成長過程を知るとともに一粒一粒に感謝を持ち味わうことができた。次年度は、クッキングの回数を増やすこと食材や食により興味をもてるような食育活動を行っていく。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)園舎建替え

- ・建替え工事は子ども、保護者、地域の協力のもと進めることができている。施工業者も保育現場の状況、地域の状況を理解し作業日程、時間の調整を行い音、安全対策については特に配慮を行っている。次年度は引越、現園舎解体等もあるので安全対策を万全にするため準備を進めていく。
- ・保護者の方も、親子2代、3代で通っている方や兄弟、姉妹で10年以上通っている方と今の園舎に思い入れのある方が多くいる。6月、8月と卒園児の会を開いたように園舎の思い出を振り返られる企画を今後も立てていく。

(2)父母の会活動

- ・コロナ禍において父母の会の活動は人が集まる催しはお休みしていた。今年度は、感染対策をしながら父母の会と園が協力し「父母の会夏フェス」秋には「粘土教室」を開催することができた。数年ぶりの開催となり親子で楽しむ姿が見られた。

(3)保護者支援

- ・保護者の思いに寄りそいながらも子どもが育っていく中で大切にしなければいけないことは専門性をもって伝えるよう心掛けている。その中でこちらの思いが一方的にならないよう話す内容、タイミング等クラス、事務所で話し合い決定し伝えてきた。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)育成室(児童発達支援事業所)との交流

- ・コロナ禍において感染リスクがあることからお互いが行き来しての交流はお休みしていたがリモートでの交流を行うことができた。ダンスを発表、パネルシアターなど互いがお楽しみを披露し交流の場をもつことができた。

(2)園舎建替えのお知らせ

- ・地域の方にも富士見保育園に通っていた方や関わりのあった方が多くいる。そのような方たちにも現園舎にきていただき当時を懐かしむ機会をもつことができた。今後も情報を聞いて訪れた方を温かく迎えていく。

III 令和4年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 人材育成

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)職員の資質向上

- ・今年度、江戸川区保育の質ガイドラインが作成され江戸川区の保育者として保育の質を高めていく方向性が図られた。これをもとに保育実践の振り返り、環境構成、保育内容の見直しを行い、園内研修等にも活用し職員全体で高めていく。
- ・行動目標シートをもとに自らの目標を明確化することができた。達成するには自分になにが必要なのか学んでいかなければいけないこと、身につけていきたいスキルなど把握し、計画的に進めていきたい。個人研修計画も立てていく。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)園舎建替えに伴い仮玄関設置

- ・建替えに伴い仮玄関設置工事が行われた。これまで職員の出退勤に使用していた通路を整備し園児が安全に通れるスペース、セキュリティーを備えた門扉、雨を防ぐ屋根を設置。また、これまでホールとして使用していたフロアを整備し玄関とした。
- ・職員の出退勤に使用していた通路には倉庫がいくつも設置されていたが仮玄関設置に伴い撤去する必要がある。外部のレンタル倉庫を借り職員で協力し、書類等の段ボール約80箱、器具、備品等を運び保管している。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)防災の備え

- ・仮玄関設置に伴い避難ルートの変更を行った。2階の避難ルートは仮設の避難すべり台から、または室内階段から降りて仮玄関から避難する2ルート。仮設の避難すべり台は基準内ではあるがこれまでの物より傾斜がきついため少人数で降りる練習を行っている。また、これまでは園庭か向かえの北小岩2丁目第2児童遊園へ避難していたが小学校への避難扉を使用し隣接する北小岩小学校へ避難している。

(2)安全点検

- ・職員で園舎、園まわり、小学校までの通路を点検表を使用して異常がないか確認している。危険な個所や破損があった場合は速やかに報告を受け、改善・修理するようにしている。

IV 令和4年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算（収入・支出）の執行状況

取り組み	内 容	収入額・支出額	予算額
(1)園舎建替え	設計・監理・コンサルティング (令和4年度分)	ロードプロモーション 25,335,430円 栗本建設工業 53,130,000円	円
(2)園舎ありがとう委員会	園舎記念写真、卒園児の会、思い出写真コーナーと思い出を多くの方たちと振り返ることができた。今後も職員と企画し進めていく。	円	円
(3)人材確保	求人広告掲載料	1,122,000 円	円

V 令和4年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 101人 入所率 101%
(単位:人)

年齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	定員													
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	178
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	20	20	20	236
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	100	102	102	102	102	102	101	101	101	101	102	101	101	1218
障がい児		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障がい児等														0
延長保育		9	9	11	11	10	11	12	12	12	12	12	12	133
短時間延長保育														0
1時間単位保育														0
短時間スポット延長														0

各区市延べ園児数 江戸川区1,184名 市川市24名 八潮市4名 印西市6名 計1,218名

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在		3/31現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
園長	1人	人	1人	人
副園長	1人	人	1人	人
主任保育士	2人	人	2人	人
保育士	16人	人	16人	人
看護師	1人	人	1人	人
給食	4人	1人	4人	1人
保育補助・休職補助等	人	6人	人	6人
事務・用務	2人	人	2人	人
合計	27人	7人	27人	7人

3 年間行事

(1) 定例行事

4月 進級式、イースター礼拝
6月 花の日礼拝 卒園児の会
7、8月 プール、水遊び お泊まり保育(5歳児)
10月、11月 運動会 収穫感謝祭

12月園児クリスマス
2、3月生活発表会、卒園児

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	・進級式・イースタ礼拝	・辞令交付式・イースター礼拝
5月	・家族の日・進級写真・わくわくファミリーデー ・土手遠足	内部監査
6月	・花の日礼拝・卒園児の会	
7月	・プール、水遊び・お泊まり保育(5歳児) ・父母の会夏フェス	
8月	・プール、水遊び・卒園児の会	
9月	・お祭りごっこ・サプライズ花火会	法人創立記念礼拝
10月	・運動会	
11月	・祝福式・収穫感謝祭・父母の会粘土教室	
12月	・クリスマス礼拝	法人クリスマス礼拝
1月		
2月	・生活発表会	
3月	・卒園式・お別れ遠足	法人追悼記念礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
4	父母の会総会(書面表決)
7	父母の会夏フェス 父母の会保護者が中心となりゲーム等の出店を開き夏祭りのような催物を行う。
11	粘土教室

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
キャリアアップ研修	子育て支援	1回	1人
	マネジメント	2回	2人
	乳児	1回	1人
ダンス・体操	ダンス教室	1回	1人
会計	会計実務研修	1回	1人
給食	給食従事者講習会	1回	1人
キャリアアップ研修	幼児	2回	2人
江戸川区園長会研修	子どもの人権	1回	2人
合 計		延 10回	延 11人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
愛国学園保育専門学校	令和4年7月25日～8月9日 12日間	1人
愛国学園保育専門学校	令和5年2月8日～2月24日 12日間	1人
東京YMCA社会体育・保育専門学校	令和5年2月6日～2月17日 10日間	1人
星美学園短期大学	令和5年2月1日～2月15日 12日間	1人
東京子ども専門学校	令和5年2月13日～2月27日 10日間	1人
合	計	延 5人

令和4（2022）年度 こひつじ保育園 事業実施状況・評価報告

I 令和4年度上半期の施設運営方針に基づく取り組み状況と成果・課題について

- ・ 育休取得者が2名のまま進んで行った令和4年であったがみんなの協力のもと、大きな事故や怪我もなく1年を終えることができた。

新型コロナウイルスもようやく収束に向かいこれからの保育や行事の捉え方を今一度考え直す機会ともなった。

又、近隣の幼稚園・保育園で協同的に学んだ講師の先生に園に個別に招いて、地域の資源を有効に使い、豊かな経験を積む主体的な遊びについて4回に分けて学ぶことができた。別の機会では職員全体で子ども主体についてリモート研修を行ったことにより同じ方向を向くことができた。

タブレットやパソコンと言った外部機器の入荷が社会情勢により大幅に遅れ、4月の導入までの期間が短かった等により集中的に行った準備期間であったが職員の協力により何とか進めることができた。今後もICTやホームページを活用し保護者は勿論、孤立化しやすい家庭保育の保護者が社会的に取り残されることのないよう園に招き入れる機会を増やし、子育ての楽しさを一緒に共有できる働きを行ってまいります。

II 令和4年度上半期の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

- (1)子どもたちが神さまに愛されているかけがえのない存在である事を感じられる保育
 - ・ 新しい牧師先生のもと、月2回礼拝に来て頂き幼児クラスに聖話を伝えて頂いているほか、2歳児クラスにおいても短い時間ではあるが牧師先生から直接お話を頂く機会を持つこともできた。
 - ・ 園長も引き続き月2回程度、幼児クラスに日頃の生活の中の題材から話を展開し聖書の御言葉を通してお互いを思いやる気持ちついてなど話を行う事ができた。
 - ・ 次年度以降も引き続き日常の保育活動を通して「常に愛されている」ことを実感できる保育を実践していく。

(2)「光・暗やみ・外遊び」を意識した保育計画づくり

- ・ 「外遊び」について、乳児は前の公園を十分に活用できるよう計画し実践することが出来ている。特に幼児については公園などの遊具で遊ぶだけでなく、園内研修で学んだ事を取り入れつつ自然に触れながらゆっくりとした時間を過ごせるよう戸外活動の計画をすすめることができた。

(3)担当制を取り入れた乳児保育

- ・ 今年度も引き続き担当制を取り入れ、食事の介助や寝かしつけなど、いつも同じ職員が関わることにより信頼関係が結ばれ安心して保育園生活を送れるよう行った。

- ・ 食事の介助では少人数で関わることにより、基本的な生活習慣を身につけられるよう丁寧に行うことができた

(4)遊びを通して発達にあった様々な体験を重ね豊かな心が育つ幼児教育

- ・ 専門的な観点から体育指導を行うことにより、子ども達の特別な時間の良い緊張感や意欲的な姿を見ることができている。

(5)互いに認め合い育ち合うための異年齢保育

- ・ これまでコロナ禍ということもあり、クラス間の交流は控えていたが、そんな中でも異年齢交流をとおして年下の子どもに対して優しく接している姿がみられたたり、例えば年上の子どもの遊び方を見た3歳児の遊び方に発展がみられるなどの一定の効果を感じることが出来た。

次年度についてはコロナによる制限も緩やかになる事が見込まれるため積極的に異年齢交流を行っていきたい。

- ・ プライベートゾーンについて看護師より、今年度は3歳児から絵本を用いて自分の心と体を守れるよう伝えたことにより、子ども達は意識して集団生活を送ることができている。

(6)食生活・食育

- ・ コロナの感染症対策のため、テーブルに着く人数を半分くらいの配置としゆったり座ることによって、感染のリスク回避や子ども同士の食事中的会話についても職員が敏感にならずに済むことにより子ども達は皆で食べる喜びを感じることができた。
- ・ 食育計画を立て、食物に対する知識や日本文化の風習についても栄養士の観点から年齢別の子ども達に向けて伝えていることにより、知識の習得や保護者のお迎えの時や玄関で検食を見ながら親子で楽しんで会話している姿を見ることができた。

(7)特別な配慮を含めた子どもへの対応

- ・ 幼児クラスでも複数担任を配置していることにより特別な配慮が必要な子どもに、個別の関りを持つことができ、その子の思いが満たされ安定した保育園生活を送ることができている。
- ・ 通所している療育の担当の先生と連絡をとりあうことにより子どもに同じ思いで関ることができたり共通の理解を持って子どもや保護者と向き合うことができた。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

- (1)子どもを中心にした関係を大切に、共に子どもの成長を喜び合う関り

- ・子ども同士のトラブルで回避できなかったひっかき等について園の責任であるので双方の名前だけは伏せていたが、お互いの保護者同士の関係が深まらない状況があり、職員全員で十分検討した結果、保護者にひっかき等を止められなかった謝罪と状況を詳しく伝え、両方の名前を明らかにすることとした。その結果、保護者同士声を掛けあうようになり保護者間の関係が深まったと感じる。今後も伝え方に十分注意しながら行っていく。
- ・子どもが気になる行動や十分に関りが必要な子どもには日々の申し送りで職員全員に周知するようにし、皆で見守り成長を伝えあうことにより全員で喜び合うことができた。
- ・お迎えの際は日中の楽しく遊んでいる姿や、友たちとの関わり方をなるべく丁寧に詳しく伝えることにより保護者へ安心感を得てもらえるよう配慮して伝えている。

(2)個別支援

- ・子育てに迷っている保護者には担任や園長との面談を無理なく誘い、時間を設けて行っていることにより、子育てに前向きになれたと保護者からの声を聞くことができた。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)地域の子育て支援の拠点づくり

- ・家庭保育のお子さんに向けて身体測定を行い、体の成長を喜び合うだけでなく、乳幼児ならではの子育ての悩みを話してもらうことにより、自分だけではなかったと再認識するだけでなく気持ちも穏やかになったと保護者からの声を聞くことができた。

(2)一時預かり保育

- ・産休に入った職員のあと代替職員が決まらない現状があったが1人担任ということで、その分ゆったりとした時間でしっかりと愛情を掛けながらお預かりをすることができた。

(3)異世代間交流

- ・コロナ禍であった為、ふれあいの交流は持てずにいたほか、地域のお年寄りと手紙のやりとりを計画していたが、具体的な取り組みまでは発展できていない状況である。
- ・これまで「敬老の日」にちなんで祖父母を招いていたが、2022年度についてもお招きすることができない状況であった為、子どもの写真を用いたフォトフレームを作成し園より直接送ったことにより何通か喜びと感謝のお手紙を頂いた。

III 令和4年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 人材育成

重点的な取り組み目標に対する取り組み状況・成果など

(1)法人の理念の継承

- ・新しい牧師先生をお招きし、気持ちも新たに聖書の言葉を通してキリスト教保育を学んでいる。また、100周年記念の準備委員会の取り組みを通して自分の職場が歴史ある重要な法人の一員である意識を高めることができています。
- ・ベタニヤホーム憲章を読みあうことにより迷うことなく、法人の理念をいつも再認識することができています。

(2)職員育成と園内研修計画

- ・外部講師を招いて子ども主体の保育や子どもの力を信じる（保育士が前に出ない）保育に近づけられるよう学んだことにより、これから実践していける保育について各々やそれぞれのクラスで考えることができた。
- ・保育で迷っている姿を見た時は個別に指導し本人自ら何が十分でどんな配慮が足りなかったか分かるように伝えたことにより、克服できたときに自信へと繋げることができた。

(3)働き方改革の取り組み

- ・有休は全職員平等に取得できるよう工夫して行っている。
- ・土曜勤務は非常勤職員の手も借りながら体制を組むことができた。
- ・限られた時間の中で行事などの打ち合わせや会議を持たなくてはならない。できるだけ回数を減らし効率よく行うべく計画を立てたが思うような効果が得られず、1回の会議に議題を詰め込んでしまうなど課題が多くあるのが現状である。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)建物管理

- ・修繕が必要な個所の優先順位を計画し内線の不具合、エレベーターのロープやバッテリー交換を行った。また、電気メーカーが蛍光灯の生産を削減していく傾向や省エネ対策による電気量削減の為、園内LED工事を行った。
- ・次年度以降開設から15年が経過している外壁やエアコンなど建物設備のメンテナンスを計画的に行っていく必要がある。

(2)ICT化の導入

- ・2023年度4月からの園児の登降園管理から始めることができた。
移行に際して大きな混乱もなくスムーズに導入することができた。

(3)コットへの移行準備

- ・2023年4月より乳児(1歳児・2歳児)クラスから導入することができた。
2023年度中に幼児クラスへの導入について検討し速やかに布団から移行できるように検討を進めていく。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する取り組み状況・成果など

(1)子どもの安全能力を高める

- ・ 戸外活動に出かける際には注意すべき点についてあらかじめ伝え、興奮した状態で外出しないよう留意している。

(2)防災・防犯・事故・感染症対策

- ・ 不審者対応訓練では参加するメンバーをあらかじめ設定せずに警察通報者・立ち入りを止める者・園内通報者等を決めそれぞれの立場で動く訓練を行ったことにより、よりリアルに危険性を感じることができ、自分自身を含めてどう守って行くべきか、何が必要で何が足りないかを今まで以上に考えることができた。
- ・ それまで玄関通用扉ついて登降園の多い時間帯については常時開錠し事務所からの目視のみで不審者対応していたが、安全対策の強化の観点から自動ドアは常時施錠することとした。また保護者の方には名札をつけて頂き、通用扉の開閉についてはその保護者の方のみ暗証番号を教え直接入力していただく方法に変更をした。
- ・ 防災対策として、災害の際はいち早く避難できるよう裸足保育から上履きを導入したことにより防災対策も強化でき、足の指の怪我が減ることができた。
- ・ ヒヤリハット報告書はどんな小さな怪我であっても提出するようにし、職員全員目を通しチェック欄を設け保育に活かせるようにしている。

(3)保育園の全てに係わる人たちの立場と権利擁護

- ・ 子どものどんな小さな名前や写真・内容であっても園内やホームページに上げる時は必ず保護者に確認をとって行う。
- ・ 仕事がお休みであっても保育の利用を快く応じていくよう保護者の権利について会議等で伝えている

IV 令和4年度上半期特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算（収入・支出）の執行状況

取り組み	内 容	収入額・支出額	予算額
(1)修繕費	各階照明器具LED化更新工事	2,456,000 円	2,500,000 円
(2)人材確保	派遣会社による職員の派遣	2,662,337 円	2,670,000 円

V 令和4年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 97人 入所率 96.58%
(単位:人)

年齢	月 定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
4歳児	21	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	212
5歳児	21	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	251
合計		96	97	97	97	97	97	97	97	96	96	96	96	1159
障がい児		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
障がい児等		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延長保育		2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
1時間単位保育		47	26	46	45	31	34	54	28	53	33	37	58	492
一時預かり保育		29	19	32	21	15	24	10	35	42	28	20	28	303

各区市延べ園児数 墨田区 1,139人 江東区 14人 台東区 6人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在		3/31現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
園長	1人	0人	1人	0人
副園長	1人	0人	1人	0人
主任保育士	3人	0人	3人	0人
保育士	16人	0人	17人	0人
看護師	1人	0人	1人	0人
給食	2人	0人	4人	0人
保育補助・給食補助等	0人	7人	0人	9人
事務・用務	0人	2人	0人	2人
合計	24人	9人	27人	11人

3 年間行事

(1) 定例行事

消火避難訓練・不審者対応訓練	月1回	第3木曜日
合同礼拝	毎週水曜日	(月2回:担当牧師による礼拝・月2回:園長による聖話)
聖書研究	(第3水曜日)	
お祝い給食	(第3木曜日)	
身体測定	月1回	0歳児検診 月1回(第3水曜日)

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	新入進級礼拝・イースター礼拝	
5月	ファミリー交流会→(コロナの感染予防により中止)	
6月	花の日礼拝(幼児のみ)	
7月	水遊び・プール お泊り保育(5歳児)	
8月	水遊び・プール	
9月	引き取り訓練 お招き会→中止(園児の制作物を祖父母に郵送)	創立99年記念礼拝
10月	ファミリースポーツデー(クラス別 3歳児親子・4歳児親子・5歳児親子)	
11月	子ども祝福式 芋ほり遠足 収穫感謝祭	
12月	親子クリスマス会	クリスマス礼拝(リモート)
1月		
2月		
3月	卒園式(4歳児の参加なし)	罹災者記念礼拝(リモート)

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
9月	一斉引き取り訓練

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
墨田区指導検査部	安心・安全な保育環境を考える	2回	5人
	保育現場における深刻事故予防	1回	1人
墨田区園長会研修	脳神経外科による学齢前の子どもの頭のけがについて	1回	3人
キ保連研修	春の講演会	1回	1人
	第1回継続研修	1回	1人
園見学	子ども主体的の共同的学びの公開保育	2回	8人
園内研修	子ども主体の保育を考える	2回	50人
民保協	職員を育て組織をつくるための主任保育士の役割	1回	1人
日本保育協会	保護者支援・子育て支援の意義 他	5回	1人
	乳幼児の食物アレルギーの最新情報	1回	1人
東京都福祉保健財団	アレルギー結膜炎を中心とした子どもの目の疾患について	1回	1人
	食べ物アレルギーの基礎知識	1回	1人
	小児喘息の基礎知識	1回	1人
合 計		延 19回	延 74人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
申出校 なし		人
合 計		延 0人

令和5年3月

社会福祉法人ベタニヤホーム
事業報告書